

令和3年度(2021年度)

管理事業名	文化会館事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 1	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化の振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 30	文化会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室				
予算大事業名 文化会館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 文化会館の管理運営(指定管理者による管理運営)及び施設改修の実施により、市民文化の向上を目指します。 <b>【概要】</b> ・大・中・小ホール、展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の使用許可及び使用料の徴収 ・施設及び付属設備等の維持管理 ・催しを円滑に進行し、かつ十分な演出効果が得られるように舞台関係所設備の操作・設備点検などの舞台管理業務							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
開館日数	日	85	190	331	年度内開館日数 (当年度の日数-(保守点検日+臨時休館日+年末年始休館日))
利用率	%	48.6	43.5	41.5	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎(以下「コマ」と表記)にみた利用率(年間利用コマ数合計/年間提供コマ数合計)
催事開催数 (市主催・自主事業)	事業数 公演数	41 95	38 125	55 138	市主催事業、自主事業の実施数
成果の説明	令和元年度及び令和2年度は、令和元年7月から令和2年8月にかけて改修工事により全館休館し、令和2年9月から開館したものの新型コロナウイルス感染症の影響から、利用率は45%前後で推移しています。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業規模縮小など制約のある中での事業実施となりましたが、感染症拡大防止策を講じ、文化活動の振興や地域文化の創造に努めたため、令和2年度と比較すると実績値は増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
<b>使用料及び手数料</b>	<b>16,425</b>	<b>35,187</b>	<b>55,089</b>	<b>19,902</b>
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	10,602	734	3,211	2,477
経常収入 小計(a)	27,027	35,921	58,300	22,379
給与関係費	8,263	10,878	11,657	778
<b>物件費</b>	<b>200,758</b>	<b>339,555</b>	<b>440,174</b>	<b>100,618</b>
<b>維持補修費</b>	<b>1,989</b>	<b>184,823</b>	<b>24,974</b>	<b>△159,849</b>
社会保障扶助費	-	-	-	-
<b>負担金・補助金・交付金等</b>	<b>149</b>	<b>6,355</b>	<b>6,709</b>	<b>354</b>
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	211,241	323,482	403,655	80,172
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	725	855	927	73
退職手当引当金繰入額	△11,063	2,503	1,311	△1,191
支払利息	4,057	5,356	15,264	9,908
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	416,120	873,806	904,670	30,864
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△389,093	△837,885	△846,370	△8,485
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	11,252	-	△11,252
特別収入 小計(d)	-	11,252	-	△11,252
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	11,252	-	△11,252
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△389,093	△826,633	△846,370	△19,737
一般財源充当額	375,502	1,041,464	527,806	△513,658
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△13,591	214,831	△318,564	△533,395

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	文化会館使用料:55,089千円 令和2年度は改修工事により約半年間休館していたため、対前年度比が増
物件費	文化会館指定管理料:403,354千円 令和2年度は改修工事により約半年間休館していたため、対前年度比が増
維持補修費	空調機修繕:18,000千円
負担金・補助金・交付金等	文化会館使用料過年度還付金:6,709千円 新型コロナウイルス感染症の影響により使用申込分の還付があったため、対前年度比が増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	17,317	35,921	58,300	22,379
行政サービス活動支出	217,381	548,553	500,414	△48,139
行政サービス活動収支差額	△200,063	△512,632	△442,114	70,518
投資活動収入	-	511,252	-	△511,252
投資活動支出	511,444	3,155,586	-	△3,155,586
投資活動収支差額	△511,444	△2,644,334	-	2,644,334
財務活動収入	382,700	2,179,700	-	△2,179,700
財務活動支出	46,695	64,198	85,692	21,494
財務活動収支差額	336,005	2,115,502	△85,692	△2,201,194
収支差額 合計	△375,502	△1,041,464	△527,806	513,658
一般財源充当額	375,502	1,041,464	527,806	△513,658
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	令和元年度	63,443 人	6,559 円	令和元年7月から令和2年8月まで改修工事により全館休館していたため、令和2年度と比較すると令和3年度は利用者が増加し、施設利用者1人あたりのコストが減少しています。
	令和2年度	102,041 人	8,563 円	
	令和3年度	175,017 人	5,169 円	
開館1日あたりのコスト	令和元年度	85 日	2,190,106 円	
	令和2年度	190 日	4,598,980 円	
	令和3年度	331 日	2,733,142 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	86,547	227,832	141,286
未収金	107	107	-	地方債	61,151	202,145	140,994
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	855	927	73
徴収不能引当金	△107	△107	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	24,541	24,760	219
有形固定資産	7,410,568	7,008,150	△402,418	その他流動負債	-	-	-
土地	2,597,020	2,597,020	-	固定負債	2,886,900	2,660,524	△226,376
建物・工作物	4,764,895	4,386,803	△378,091	地方債	2,853,390	2,651,245	△202,145
リース資産	48,653	24,326	△24,326	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	8,750	9,279	529
無形固定資産	-	-	-	リース債務	24,760	-	△24,760
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	2,973,447	2,888,356	△85,091
建物・工作物	-	-	-	純資産	4,663,451	4,344,887	△318,564
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	26,330	25,093	△1,237	純資産の部合計	4,663,451	4,344,887	△318,564
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	200,000	200,000	-	負債及び純資産の部合計	7,636,898	7,233,243	△403,655
出資金	200,000	200,000	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,636,898	7,233,243	△403,655				

Ⅲ 財務構造分析

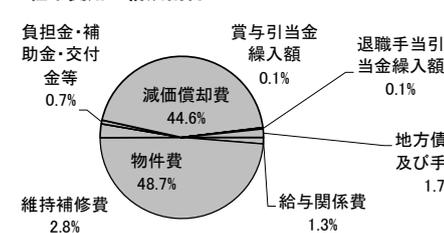
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	1.6 人	- 日	10 日	
給与関係費等	13,811 千円	- 千円	84 千円	合計(千円) 13,895
内、時間外勤務手当	196 千円			

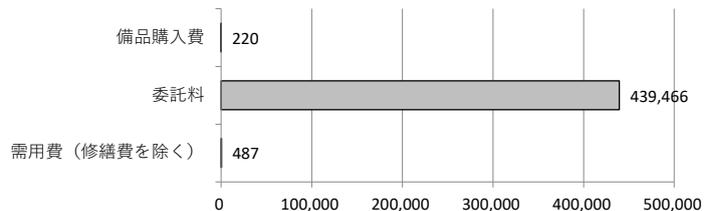
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	文化会館の減価償却による348,092千円の減
リース資産	舞台音響リース、舞台照明リース
重要物品	重要物品減価償却による1,237千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市文化会館
取得年月日	昭和60年3月1日
建物・工作物の取得価額	10,096,562 千円
建物・工作物の減価償却累計額	5,709,758 千円
利用料金収入	55,089 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		0.0	1.8	0.2	△ 1.6
施設老朽化比率		78.4	52.8	56.6	3.8
受益者負担比率		3.9	4.0	6.1	2.1
徴収不能引当率		100.0	100.0	100.0	0.0
一般財源充当比率		48.4	27.6	90.1	62.5
経常費用対公共資産比率		6.5	8.7	9.0	0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・物件費がコスト全体の48.7%を占め、そのうち施設管理に係る委託料が91.6%を占めています。
- ・減価償却費がコスト全体の44.6%を占めています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度使用申込分の還付があり、負担金・補助金・交付金等が増加しています。
- ・債権発生から5年になる未収金があり、徴収不能引当率が100%で推移しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成29年度以降に実施していた改修工事が令和2年8月に終了し、リニューアルオープンしました。今後も計画的な維持補修を行い、施設の長寿命化を図ります。  
改修工事や感染症等の影響により、近年の利用率等が低下しており、今後は、以前と同様高い利用率になるよう、サービスの充実が必要です。  
新型コロナウイルス感染症の影響により施設運営に大きな制約はありますが、市民の文化芸術の鑑賞や発表の場として活用できるよう、引き続き効果的な管理運営に取り組めます。